

頑張る

農業法人

福知山市の南東部に位置する三和町梅原地区で、農業の担い手を育成し、集落の農地を守りたいと、夫妻で立ち上げた農業生産法人「合同会社・丹波の里ひぐち農園」。

□ □

ハウス21棟で、「九条ねぎ」「みず菜」「万願寺とうがらし」などの京野菜や、水稲2畝、栗1畝と多彩な品目を手掛ける他、こんにゃく、漬物などの加工・販売にも取り組み、従業員3人を雇用して、強い農業経営を目指す。

代表社員の樋口泰夫さん(64)は、兼業農家として、親の農業を引き継ぎ、妻の田鶴子さん(65)と米作りに励んできた。より農業経営を安定させようと20年前に専業農家となることを決

意。1畝にハウスを建て、地域では先進的だった「みず菜」をはじめ、多彩な品目栽培に取り組んだ。

□ □

自身には後継者がいないため、パートタイマーを雇用したり、新規就農者の研修受け入れも積極的に進めてきた。

そうした中、地区内の約30戸の農家の高齢化が進み、休耕地も増えてきた。そのため地区内の農地を守るとともに、雇用した従業員の労務管理を整備する目的で、2006年7月に設立案件が簡易な合同会社を妻とともに立ち上げた。

法人化したことにより、地区内の農家からは、農作業委託が寄せられるようになり、従業員の労働保険、給与、労働時間

福知山市

合同会社 丹波の里ひぐち農園

担い手育て、地域農業を守る



「九条ねぎ」ハウス内で、作業に励む従業員を暖かく見守る樋口さん夫妻(立ち姿)

夫妻で法人立ち上げ

の整備なども進めることができるようになった。野菜類はJA京都にのくに出荷する他、加工品はJA直売所や、自ら開拓したスーパーなどで販売する。

□ □

樋口さんは「経営的にはまだまだ。昨年は黒字に転換できたものの、法人化のメリット発揮はこれから。今後も担い手育成を通じて地域農業の維持と、経営の安定化を目指して頑張りたい」と意欲を語る。

▽法人の所在地 福知山市三和町梅原5
▽電話 0773(58)4831